

輸送現象の物理

今回の Kyutech 物性セミナーでは輸送現象をとりあげます。物性物理において輸送現象に関する研究は多くの重要問題を提起してきました。量子ホール効果の発見は物性におけるトポロジーの重要性を示す契機となり、現在、この分野は物性研究におけるもっとも活発な分野のひとつとなっています。また電気伝導、熱伝導、超伝導、スピン伝導などの輸送現象は応用物性の基礎であり、輸送制御を目指したデバイス開発が日夜なされています。今回の講演会では、輸送現象とこれに関わる物質設計において卓越した業績を挙げておられる二名の外部講演者をお招きして現在の研究の前線についてご講演を頂きます。本学でも量子輸送現象に関して精力的に研究されている二名の先生方にご講演を頂きます。

詳細 日時 **2024.3.27** (水) 13:00-17:10

会場 九工大戸畑キャンパス コラボ教育支援棟3階 セミナー室

◎申込み不要です。ご興味のある方はぜひお立ち寄りください。



プログラム

13:00-13:55 「機能性反強磁性体の物質探索」

有田亮太郎 (東京大学先端科学技術研究センター/教授・
RIKEN創発物性科学研究センター/チームリーダー)

13:55-14:30 「金属材料におけるスピンホール効果の新展開」

福間康裕 (九州工業大学大学院情報工学研究院/教授)

————— 休憩 14:30-15:40 (教授会のため少し長めの休憩となります) —————

15:40-16:35 「量子スピン液体におけるマヨラナ粒子と非可換エニオン化」

松田祐司 (京都大学大学院理学研究科物理学専攻/教授)

16:35-17:10 「量子ホール効果を基準に考察する

トポロジカル物質科学の進展について」

大熊信之 (九州工業大学大学院工学研究院/准教授)

主催 令和4年度研究力強化事業「計算と実験の連携に基づく材料科学研究基盤構築—遷移金属酸化物デバイス機能開拓—」
代表 中村 和磨 (基礎科学研究系)

共催 i-ENERON 環境エネルギー融合研究センター 代表 中戸 晃之 (物質工学研究系)

お問合せ 九州工業大学工学研究院 基礎科学研究系 中村 和磨

TEL 093-884-3419 E-Mail kazuma@mns.kyutech.ac.jp